



真理子先生の

# 女性のさかた

## 検診のオススメ

### 伊藤 真理子

●(いとう・まりこ) 1986年(昭和61年)山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産婦人科学会認定産婦人科専門医。

「病気にはなりたくない、でも自分だけは大丈夫」と思われてはいませんか？ 実は女性ならではの病気はセルフチェックや定期検診を欠かさなければ早めにわかる場合も多いのです。そこで今回は「検診のススメ」。

### 利用したい公的検診

山形の皆様には公的検診の機会があります。自

乳がんは40歳以上の方が対象で触診とマンモグラフィ（レントゲン検査）を合わせたの検診です。自己負担は49歳まで2400円、50歳以上は1700円です。月に1度の自己触診をなされれば

### 対象は乳がんと子宮がん

治体によって多少の違いはありますが、ここでは山形市の仕組みを紹介しましょう。婦人科検診には乳がんと子宮がんとがあります。それぞれ2年に1度受ける事ができ、基本的に年度内に偶数歳になる方が対象です。66歳以上の方は無料です。

後悔しないためにも  
今年度に奇数歳になる方でも、昨年度にこの制度を利用していなければ7月1日から受けることが出来ます。ただ事前

より安心でしょう。子宮がんは20歳から。子宮の出口に出来る子宮頸がんだけなら1700円、奥の方の子宮体がんと合わせても2500円です。子宮頸がんは若い方も増える一方で、平成21年度は対象者に8月中に「子宮がん無料クーポン券」が送付されます。集団検診だけでなく、どちらの産婦人科でも受けることができます。

【山形市】平成21年度無料クーポン券配布年齢

	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳
子宮頸がん	●	●	●	●	●				
乳がん					●	●	●	●	●

市役所での手続きが必要なることをお忘れなく。皆様が考えているよりお値段もずっとお安いのでは？ 今まで検査のチャンスが無かった方も今年あたり是非いかがでしょうか。「受けておけば良かった」というようなことにならないために。